

<b>フェンブコナゾール水和剤 インダーフロアブル</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、ダウ  <b>原体メーカー：</b> ダウ
<b>成分：</b> フェンブコナゾール〔エルゴステロール生成阻害剤 PRTR・1種〕 .....22.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】 .....

- トリアゾール系の殺菌剤（DMI剤）で、茶、落葉果樹の重要病害に幅広く効く。
- 予防効果と治療効果を兼ね備え、また、残効性もあり、果実感染防止効果に優れる。
- 使いやすいフロアブルタイプの製剤である。
- 低濃度で使用でき、薬剤による作物への汚れがほとんどない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 .....

#### 〈茶〉

- 炭疽病に高い治療効果を示し、三番茶を摘採しない園では三番茶生育期（2～3葉開葉期）、三番茶を摘採する園では秋芽生育期（2～3葉開葉期）が防除適期である。

#### 〈りんご〉

- 黒星病に優れた予防効果と治療効果を示し、赤星病やうどんこ病にも安定した効果があるので、開花期前後処理として適している。
- モニリア病（葉腐れ）に対し、潜伏感染期での治療効果とともに予防効果も兼ね備えており、芽出し以降の慣行殺菌剤との体系使用で開花直前に散布することにより、モニリア病による花腐れを抑制する。

#### 〈なし〉

- 黒星病に安定した予防・治療効果を示し、特に果実感染発病阻止効果に優れるため、開花前後～果実肥大期が防除適期である。

#### 〈もも・おうとう〉

- 灰星病の果実感染防止効果に優れ、黒星病との同時防除ができる。果実の汚れも少なく、収穫前日まで使える。

#### 〈ぶどう〉

- うどんこ病、黒とう病に高い効果を示し、果実の汚れも少ない薬剤である。

### 【薬効・薬害等の注意】 .....

- 貯蔵中に分離することがあるので、使用に際してはよく振る。

### 【安全対策上の注意】 .....

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フェンブコナゾールを 含む農薬の総使用回数
りんご	赤星病	8000～ 12000 倍	200～700 ℓ	14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	うどんこ病	5000～ 12000 倍					
	黒星病	5000～ 12000 倍					
	モニリア病	5000 倍					
	褐斑病 黒点病 すす点病 すす斑病	10000 倍		7 日前まで			
なし	黒星病	5000～ 12000 倍					
	赤星病	8000～ 12000 倍					
	輪紋病	5000 倍					
	うどんこ病	5000～ 10000 倍					
かき	炭疽病 うどんこ病 落葉病	5000 倍		2 回以内	2 回以内		
もも	黒星病 灰星病			4 回以内	4 回以内		
おうとう	灰星病 幼果菌核病			2 回以内	2 回以内		
ネクタリン	黒星病 灰星病			4 回以内	4 回以内		
すもも	灰星病			2 回以内	2 回以内		
うめ	黒星病 すす斑病						
あんず	灰星病						
ぶどう	黒とう病 うどんこ病 灰色かび病 褐斑病	8000 倍		30 日前まで	3 回以内		3 回以内
ブルーベリー	灰色かび病		14 日前まで	1 回	1 回		
茶	炭疽病 褐色円星病	5000～ 8000 倍	200～400 ℓ	摘採 7 日前まで	2 回以内	2 回以内	
	もち病 網もち病	5000 倍					
りんどう	花腐菌核病 葉枯病		200～300 ℓ	発病初期	5 回以内	5 回以内	